

編集後記

はやいものでもう3月です。年々時の経つのを早く感じるのは、年をとったからだけではなくて日々の新鮮体験、ワクワクドキドキ感が子供のころほどないからだ、1日、1か月、1年の濃度が薄くなっているからだとかで読んだことがあります。

本誌編集委員会の企画会議は、個々の委員の理学療法士としての知識と経験、哲学をもとに繰り広げられる活発な意見交換がワクワクドキドキのすてきな時間です。本特集、「理学療法における動作のアセスメント」も熱いやりとりを経て、魅力的な内容となりました。理学療法における動作のアセスメントの成り立ちとは？ そもそも動作とはどこまでを含むのか？ その関連要因は？……その結果、アセスメントの対象を単一の動作や疾患に絞らず設定したタイトルに沿って、金子純一郎氏、北山哲也氏、石井慎一郎氏、大住倫弘氏に幅広く解説していただきました。「動作を評価して治療する、治療手段に動作課題を用いる」専門職として、動作遂行に関与し阻害する諸因子の幅広さ、見えないところまで考察するアセスメントの奥深さ、そして動作にとって大切なことは何か、読み取っていただきたいと思います。

入門講座・歩行「脳卒中者の歩行の経過」、オリパラ関連企画：現場における重要なスポーツ動作「柔道の受け身」、どちらも動作や運動と生体の機能の関係に考察が及んでいます。臨床実習サブノートは大腿切断の膝継ぎ手を通した歩行のみかた、卒業論文のひろばは足関節機能の歩行への影響について、理学療法士によるさまざまな動作アセスメントが生かされた内容です。

地球上のすべてのヒトの動作には目的があり、さらに過程を支えるきめ細かい動きと制御があります。理学療法が関与できる範囲がどれだけ広いかをあらためて感じ、考えさせられます。

さて、新年度はすぐそこ、来年度もがんばりましょうという前向きな挨拶もこの時期の風物詩です。しかし、予定外・想定外の病気やけがに見舞われリハビリテーションを受ける方々は、暦や年度の区切りなどに関与することなくこの時期を過ごしていらっしゃるのかもしれませんが、理学療法士は身体に触れて支えて動きをアセスメントしつつ、その改善をともに感じ、一緒に喜ぶことのできる職業です。

「とびら」とともに、理学療法の可能性と奥深さに感謝！！

(永富史子)

理学療法ジャーナル

第52巻 第3号

2018年3月15日発行(毎月1回15日発行)

定価：本体1,800円＋税

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話

本誌編集室直通(03)3817-5704

(担当：吉田・佐井・川上・前野)

販売部直通(03)3817-5659

ファクシミリ

(03)3815-7802

E-mail

ptj@igaku-shoin.co.jp

Web

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ptj/

振替口座

00170-9-96693 番

印刷所

三報社印刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所

(株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

編集顧問

安藤 徳彦
上田 敏
大川 弥生
高橋 正明
鶴見 隆正
奈良 勲
福屋 靖子

編集委員

網本 和
内山 靖
金谷 さとみ
高橋 哲也
永富 史子
福井 勉
山田 英司
横田 一彦
吉尾 雅春

編集同人

伊橋 光二
大場 みゆき
岡西 哲夫
神谷 健太郎
日下 隆一
甲田 宗嗣
河野 礼治
小塚 直樹
酒井 桂太
佐藤 秀一
佐藤 房郎
塚田 鉄平
塚本 利昭
富樫 誠二
長澤 弘
長野 由紀江
中林 美代子
中村 春基
野添 匡史
長谷川 隆史
濱出 茂治
備酒 伸彦
日野 工
平野 明日香
深浦 順一
福田 恵美子
二木 淑子
星 文彦
松田 雅弘
丸田 和夫
諸橋 勇
八木 麻衣子

- ・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2018. Printed in Japan
- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有しています。
- ・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- *「理学療法ジャーナル」は、株式会社医学書院の登録商標です。